

県外派遣報告書

栃木県バスケットボール協会 審判部

大会名	関東高等学校新人大会	開催地	山梨県
報告者名 (所属連盟)	山崎 雅洋(高体連) 若林 謙作(中体連) 平山 智章(高体連) 慶野 芽以(高体連)	派遣期間	令和 2年 2月 7日 ~ 9日
参加者 (敬称略)	本部: 渡邊 整(関東審判長) 平原 勇次(関東副審判長) 指名: 安西 郷史(埼玉) 長谷川 裕(神奈川) 大山 賢史(栃木) 茨城県: 古畑 香子 一色 渉 二宮 隆二 菊地 瑞昭 栃木県: 山崎 雅洋 若林 謙作 平山 智章 慶野 芽以 群馬県: 星野 由貴 石崎 公一 穂川 苑子 星河 聖 埼玉県: 北島 寛臣 大井 陽平 小原 宏太 小泉 登 千葉県: 中島 弘幸 円谷 怜美 大川 尚 安藤 俊明 東京都: 遠藤 大輔 佐藤 浩太 石川 丈晴 千葉 美幸 神奈川県: 飯塚 貴行 松尾 梨紗 大澤 尚樹 三角 俊 山梨県審判員の方々		
【審判会議内容】			
<p><安西郷史氏より>(指名審判員)</p> <p>今回の審判会議では、安西氏自身の今までの経験をもとに、2POと3POの違いや、それぞれの良い点などを中心に話がありました。 (3POが普及してきた今…)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center; margin: 20px 0;"> <div style="border: 1px solid green; border-radius: 10px; padding: 5px 15px; background-color: #e0ffe0;">判定力を磨く</div> <div style="font-size: 2em; color: blue; margin: 0 10px;">➔</div> <div style="border: 1px solid green; border-radius: 10px; padding: 5px 15px; background-color: #e0ffe0;">プレゼンテーション</div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center; margin: 20px 0;"> <div style="border: 1px solid green; border-radius: 10px; padding: 5px 15px; background-color: #e0ffe0;">メカニクスの理解</div> <div style="font-size: 2em; color: blue; margin: 0 10px;">➔</div> <div style="border: 1px solid green; border-radius: 10px; padding: 5px 15px; background-color: #e0ffe0;">トレンドの追求</div> </div> <p>※どちらかが大切ではなく、どちらも大切で必要になる！！</p> <p>(しかし、U18以下のカテゴリーでは…) 何よりもまずは 判定力！ 判定力が無いのに、プレゼンテーションだけ(格好だけ) ⇒ベンチからの信頼を損ねる要因になる</p> <p>※特に各都県の地区大会や都県大会では、多くのゲームが2POで行われる。 メカニクスやプレゼンテーションを意識しすぎるあまりに、判定が疎かになってしまうことの無いようにしなければならない。</p> <p><大山賢史氏より>(指名審判員) 安西氏の話の後を受けて、今我々審判員が求められていること、メカニクスの中でも変化してきていることに柔軟に対応して、身につけて実践していくことが大切であると話がありました。 また、カンファレンスなどで使われる用語に関しても理解しておくことが、コート上でのコミュニケーションなどで生きてくるということでした。</p> <p><感想> 今年度でリタイアされる安西氏のレクチャーをお聞きすることができ、今まで多くの歴代の審判員が築き上げてきたものを、しっかりと繋いでいかなければならないと改めて感じることができました。県内審判員の皆様にも、研修会など様々な場を通して、広めていきたいと考えています。</p>			

割当日:令和 2年 2月 8日			
審判員名	若林 謙作	相手審判	(CG)大川 尚 氏(千葉) (U2)中澤 杏樹 氏(山梨)
カード	女子1回戦	埼玉栄(埼玉)	対 桐生商業(群馬)
◇ ミーティングの内容			
・クルー(相手)のプライマリーを判定しなければいけない時は、その触れ合いの度合いやゲームに必要なものかどうかを考えて判定する。			
・POCについて、周囲の目と違和感を感じるケースがいくつかあった。			
・全体的には、クルーで協力してショットクロックなどの管理も行っており、接戦でも安心して試合に集中することができた。			
《審判主任》 渡邊 整 氏(本部)			

割当日:令和 2年 2月 8日			
審判員名	若林 謙作	相手審判	(CG)北島 寛臣 氏(埼玉) (U2)山本 恵一 氏(山梨)
カード	女子2回戦	東海大相模(神奈川)	対 東京成徳(東京)
◇ ミーティングの内容			
・オフボールの判定をもっとする必要があった。			
特に、ゲームに影響を与えるマッチアップを早く捕まえ、そこをクルーで協力して厚く見ることが重要。			
・Cからミドルレーンのオフボールのコンタクトに笛を入れたケースはとても良かった。			
・ショットクロックの管理やファールの数の管理などもしっかりできていた。分かりにくいケースもあったが、続けていくことが大切である。			
《審判主任》 大山 賢史 氏(本部)			

割当日:令和 2年 2月 9日			
審判員名	若林 謙作	相手審判	(CG)北島 寛臣 氏(埼玉) (U1)中島 弘幸 氏(千葉)
カード	男子準決勝	桐光学園(神奈川)	対 成立学園(東京)
◇ ミーティングの内容			
・自分のプライマリーのところについて、もっと積極的に判定する必要があった。			
クルーに助けられている時がいくつか見られた。予想やアングルの取り方等、工夫が必要。			
・自分の判定基準を示し続けることも大切。吹いたり吹かなかったりでは印象も悪く、選手・ベンチへのメッセージにもならない。			
《審判主任》 大澤 尚樹 氏			

【感想・県内審判員へ伝えたいこと】			
<p>今回は、1泊審判員として参加させていただきました。大会初日に女子1回戦と2回戦の2試合、大会2日目に男子準決勝と計3試合の割当をいただきました。その中でS級の方と2試合担当させていただきましたが、自分の力の無さを痛感させられました。ゲーム全体の管理から判定の1つ1つに至るまで、その掌握力は全く足りないことが分かりました。そのゲームのレベルや質を感じ取って、必要or不必要を瞬時に判断する、それは経験や感性が求められるのもだと感じました。色々な方の審判を見学したり、そのゲームを周りで見ている方の意見をその場で聞いたり、現場の生の声を聞くことで経験や感性は培われるのではないかと考えます。今後もそんな審判員を目指して研鑽を積んでいきたいと思います。</p> <p>最後に、今回の派遣に際しましてご配慮いただきました渡邊整関東ブロック長、渡邊諭審判長をはじめ、県内審判員の皆様、そしてお世話になりました山梨県協会・審判員の皆様に心より感謝申し上げます。</p>			

割当日:令和 2年 2月 8日			
審判員名	平山 智章	相手審判	(CC) 河野 仁 氏(山梨) (U2) 秋山 知洋 氏(山梨)
カード	つくば秀英(茨城)	対	桐光学園(神奈川)
◇ ミーティングの内容			
・カンファレンスでは、3人の協力について(3or2・ローテーション・クロックの確認)話をしてゲームに臨んだ。			
・1Qからテンポセッティング、特につくば秀英のハンドチェックや両チームのインサイドプレイヤーの手や身体の使い方に関して、3人で一貫してコールできていた。それがゲーム終了まで崩れることなく終わることができた。			
・ファウルバランスの偏りが気にはなっていたが、取り上げるべきものはきちんとコールしていたので問題はなかった。			
・カンファレンスで話したこと(3or2・ローテーション・クロック)については、意識してゲームを進められた。			
・インティグリティに関して、片方のベンチから該当する言葉が出てきたが、テクニカルファウルを宣することができなかった。ベンチサイドにいるレフリー(当ゲームでは自分)が判断して、適応していくことが大切。			
・リード時のローテーション中にミッドラインを越えたら、ローテーションしてしまってもよい。			
・ゲーム全体としては、特に難しいケースもなく、大きな問題もなく、ゲームを終えることができたので良かった。			
《審判主任》 遠藤 大輔 氏(東京)			

割当日:令和 2年 2月 8日			
審判員名	平山 智章	相手審判	(CC) 長谷川 裕 (氏名) (U1) 一色 渉 氏(茨城)
カード	成立学園(東京)	対	八千代松陰(千葉)
◇ ミーティングの内容			
・カンファレンスでは、基本のメカニクスに忠実に、自分のエリアをしっかりと判定していきましょうと話をしてゲームに臨んだ。			
・ボール中心に見てしまう時間が長くなってしまい、オーバーエリアのものを判定してしまうケースがいくつか出てきてしまった。			
・Cサイドのドライブで、自分がコールしなければならないケースを判定できないケースがあった。ドライブに対してのポジションアジャストに工夫が必要。			
・プレイヤーが意図を持ってファウルをしたケースは、シンプルにファウルを積んでいった方が良いゲームコントロールにつながる。			
・全体的に判定に迷いがみられた。プライマリエリアなどのメカニクスの更なる理解が必要。			
《審判主任》 石崎 公一 氏			

【感想・県内審判員へ伝えたいこと】

今回は1泊派遣審判員として、初日に2試合の割当を頂きました。また、初めての関東新人大会であり、新人チームのフレッシュ感などを初めて感じる事ができました。

審判会議では、今年度でご定年される安西さんから、ご自身の今までのご経験などを踏まえながらこれから私たちはどのような審判像を追い求めていったらよいのかなど、大変貴重なお話を聞くことができました。

自身のレフェリングに関しては、今まで取り組んできたことがコート上で発揮できた部分と、できなかった部分、また、新たな課題も見つかり、とても貴重な経験をすることができました。

今大会で学ばせて頂いたことを、県内にも還元できるよう、今後も取り組んで参りたいと思います。

今大会を開催するにあたり、ご尽力頂いた山梨県の皆様。また、今回の派遣に関しましてご配慮頂きました渡邊整関東ブロック長、渡邊諭栃木県審判長をはじめとする県内審判員の皆様、派遣審判員の皆様、そして、大会期間中大変お世話になりました山梨県審判員の皆様に感謝申し上げます、派遣報告とさせていただきます。

平山 智章

割当日:令和 2年 2月 8日			
審判員名	慶野 芽以	相手審判	(CC)松尾梨紗氏(神奈川) (U2)日向美奈氏(山梨)
カード	女子1回戦	東京成徳(東京)	対 千葉英和(千葉)
◇ ミーティングの内容			
メカが十分に機能できておらず、その結果、各々の判定力がゲームに活かしきれないケースがあった。			
【リード】			
ノッキングが多い。close downをしっかりと使うことで解消できる。			
ポイント①ボールのフロントコートへのエントリー時、ボールがCside? ミッドレイン付近? Tside? ⇒エントリーする場所に応じてset up position やclose downの位置取りの工夫			
ポイント②ボールサイドの展開時、パイプから出た? 出ない? 等			
ポイント③switch side後、ボール(プレイ)の展開に応じて ⇒set up positionまで開くのか、close downで留まるのかの工夫			
【トレイル】			
位置が高く、プレイの判定が難しくなってしまう場面があった。			
(例)ボールがトップに戻り、ボールレベルが上がった際に、不用意にあがりすぎてしまう等。			
ロートレイルにもっと積極的にチャレンジする。			
《審判主任》 北島 寛臣 氏 (埼玉)			

割当日:令和 2年 2月 8日			
審判員名	慶野 芽以	相手審判	(CC)大川尚氏(埼玉) (U2)荻野健氏(山梨)
カード	女子2回戦	八雲学園(東京)	対 市立前橋(群馬)
◇ ミーティングの内容			
・ピックインバクトに対して、もっと決断してほしいケースがあった。			
⇒自分がセンターの際に特に。			
プレイに対して、見方を(ポジションやアングル)を細かく変えられると判定できる。			
《審判主任》 穂川 苑子 氏 (群馬)			

【感想・県内審判員へ伝達したいこと】

今回は1泊審判員として参加させていただき、大会初日に女子1回戦と2回戦の割当をいただきました。その割当を通して、改めて3POのメカニクスを理解し、それを実行に移すことの重要性和難しさに気づきました。

これまで県内をはじめ、各所で様々な研修会や講習会に参加して参りました。その都度言われることは「メカニクスの重要性」です。もちろん私自身頭では理解しているつもりですが、いざコート上でそれが発揮されるかといえば、まだまだ力不足なところが随所に見られます。今回もそれを痛切に感じました。今回の派遣で得た情報と知識を、さらに自分なりに消化しつつ実践に活かしていきたいと考えます。そしてさらにコート上で判定力に厚みを出していけるよう、日々精進して参りたいと思いません。

最後に、今回の派遣に際しましてご配慮いただきました渡邊整関東ブロック長、渡邊諭審判長をはじめ、県内審判員の皆様、そしてお世話になりました山梨県協会・審判員の皆様に心より感謝申し上げます。